

JET からの手紙

共に暮らし、共に笑う 地域に寄り添う錦江町の国際交流

鹿児島県錦江町政策企画課 国際交流員
Trần Hoàng Anh (チャン・ホアン・アイン)

はじめに

私は以前、国際交流とは大きなイベントや、多くの人が集まる特別なプログラムのことだと思っていました。しかし、錦江町での生活や仕事を始めてから、国際交流は必ずしも特別な場から生まれるものばかりでなく、朝のあいさつや短い会話、日常の中で何かを一緒にする時間といった、小さな積み重ねから始まるのだと気が付きました。

現在、鹿児島県錦江町で国際交流員（CIR）として勤務し2年目となります。JET プログラムを通じて、豊かな自然や温かい人々が織りなすこの町で生活し、地域の一員として活動する機会をいただいています。

多文化共生とその醸成

CIRとしての私の主な役割は、錦江町における多文化共生の促進です。それは単に外国の文化を紹介することだけでなく、地域の人々と外国人住民が、お互いを理解し、尊重しつつ、同じ地域で暮らしていくためのまちづくりだと感じています。



町内の「ありがと祭り」でのベトナム文化紹介ブース



鹿児島市の「おはら祭り」で外国人技能実習生と踊る様子

具体的には、外国人技能実習生の生活支援として、日常生活に必要な情報の提供や相談対応を行うほか、地域の人々との交流の場づくりにも取り組んでいます。無料の日本語教室や鹿児島県の伝統行事である「おはら祭り」への参加などを通じて、人と人が自然に出会い、言葉を交わし、交流を深める貴重な機会となっています。

言葉や文化の違いから、最初は戸惑いや不安を感じる場面も少なくありません。しかし、そうした小さな壁に一つ一つ向き合い、丁寧な対話を重ねていくことで、少しずつ信頼関係が築かれていくことを学びました。

また、多文化共生の醸成として、町内のイベントや高齢者サロンなどでは、ベトナム文化紹介ブースを設け、手工芸品を一緒に作ったり、ベトナムの伝統的な遊びを体験したり、歌や会話を楽しんだりしています。さらに、料理が好きなことから、生涯学習講座の中でベトナム料理講座を担当する機会もあり、食を通じた交流の楽しさを感じています。



高齢者サロンでのベトナム文化紹介

地域の人々との交流

仕事以外の場面でも、地域の人々と交流する機会に恵まれています。音楽が大好きな私は、地元のバンド活動や合唱に参加しています。中でも、地域の人々と結成した「にわかバンド」での活動は、私にとって大切な居場所の一つです。年齢も職業も異なるメンバーが、それぞれの楽器を持ち寄り、「ただ音楽を楽しみたい」という気持ちだけで集まります。

地域のイベントだけでなく、老人ホームを訪問して演奏する機会もあります。懐かしい曲が流れると、入居者の人々が、自然に口ずさみ、やがて手拍子が広がっていきます。その変化を目の前で見ると、音楽には人の記憶や時間をそっと呼び起こす力があるのだと実感します。演奏が終わった後、「また来てくいいいな」^(注)と手を握ってくださった時の温もりは、私にとって大きな励みとなっています。

(注) 鹿児島弁で「くいいい」は「ください」という意味です。

特別な言葉を多く交わさなくても、同じメロディーを共有するだけで心が近づく瞬間があります。そこには、「国際交流」という言葉すらいらぬほど、自然な心の交流があると思います。



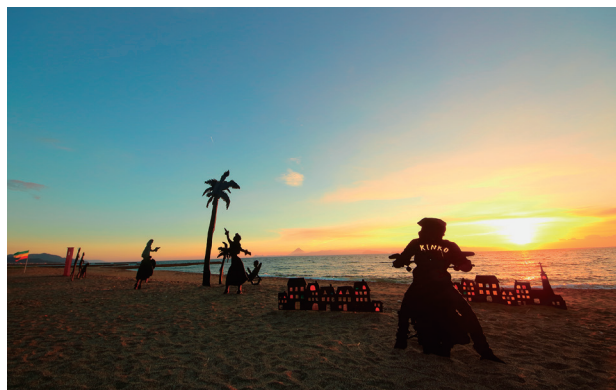
「にわかバンド」の演奏風景

心に残るもの—人と共にある風景

錦江町は、温かい人々だけでなく、豊かな自然にも恵まれた場所です。輝く海、緑あふれる山々、季節ごとに移りゆく風景は、私の日常に寄り添い、この町での生活をより魅力的なものにしてくれています。錦江町では、ゆったりとした時間が流れ、美しい風景が人々の生活と調和しています。私は海辺を歩きながら夕日を眺めたり、緑の並木道を車で走ったりするたびに、人と自然が穏やかに溶け合うこの町らしさを感じています。

JET プログラムを通じて、私は文化を紹介する立場であると同時に、地域の中で共に暮らし、共に経験を重ね、時には笑い合いながら関係を築く一人として、この町に関わることができています。特に、会話や笑顔がふとした瞬間に交わるからこそ、知らず知らずのうちに心の懸け橋となります。

これからも JET プログラムの一員として、国際交流を特別なものではなく、地域の日常の一部として根付かせられるよう、誰もが安心して共に暮らせる環境づくりに貢献していきたいと思っています。



錦江町・神川ビーチの夕景

プロフィール



Trần Hoàng Anh
(チャン・ホアン・アイン)

ベトナムのラオカイ省出身。ベトナムのハノイ法科大学・ハノイ日本法教育研究センター修了後、3年間、ベトナムにおける JICA 法整備・執行の質および効率性向上プロジェクトに携わった。日本で

地域の人々と交流しながら働きたいと考え、JET プログラムに参加。趣味はギター、演歌、料理、筋トレ、旅行など。